

心豊かで いきいきと暮らす ふるさとづくり



広報たけとみちょう

日本最南端の町の広報誌



令和元年 11月13日 仮設庁舎安全祈願祭

- 令和2年 竹富町長 年頭のあいさつ 2
- 庁舎整備進捗状況について 3
- 町長への提言発表会 3
- ゆいまーるワークショップ 4

- 民生委員・児童委員の紹介 5
- ニュース&トピックス 6
- 地域おこし協力隊活動報告 vol.6 8
- 地域活性化及び移住定住に関するアンケート調査結果 9
- 竹富町 学校だより 10
- 税務課からのお知らせ 11
- 竹富町運営WEBサイトPR掲載募集 12
- ツマジロクサヨトウの発生注意 12
- 食品ロスを減らそう 13
- 情報BOX 14
- 戸籍に記載されていない方へ 15
- 看護に関する入門的研修受講生募集 16



2019年 11月末現在

総人口：4,336人（-6）
男 性：2,253人（-2）
女 性：2,083人（-4）
世帯数：2,493世帯（-5）

2020年 1月号

No.447

令和2年 竹富町長 年頭のあいさつ

明けましておめでとうございます。



町民の皆様におかれましては、新たな夢と希望に満ちた、輝かしい新年を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申しあげます。また、日頃より町政運営におきましても、格別なご理解とご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

私が、町長として、我が町、竹富町の「こころ豊かなふるさとづくり」への熱い思いを抱き、町政の舵取り役を担わせていただいてから、早いもので4年目を迎えております。

昨年は、私が掲げた、町政運営のモットーであります「決める行政・決める政治」のもと、多くの目標や政策をスピード感を持って実行し、各課題解決に向け取り組んでまいりました。中でも、本町の最重要課題であります庁舎移転につきましては、仮庁舎建設もはじまり、町民皆様の更なる利便性向上のため、島間交通の確保等、諸条件整備を進め、西表島への庁舎早期移転に向けた取り組みを更に加速させて参ります。

また、今年は、竹富町の新たな10年間の指針となる、中・長期的展望を見据えた総合計画の策定や、7月の世界自然遺産登録へ向けた重要な年となります。計画に沿った、様々な事業の実施や本町が抱える各種課題解決に向けて着実に取り組んでまいります。

昨年同様、社会情勢は、依然として厳しい状況にありますが、本町の産業の振興、超高齢社会への対応、子育て世代への支援等、島々における均衡ある諸施策を展開し、「全ての町民が安心・安全で快適に暮らせる町づくり」「心豊かでいきいきと暮らすふるさとづくり」に向け、邁進する所存でございます。

年頭にあたり、町民皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申しあげますと共に、町政運営に一層のお力添えを賜りますようお願い申しあげ、新年のごあいさつといたします。

令和2年元旦 竹富町長 西大舛 高旬

庁舎整備進捗状況について

お問合せ先

竹富町役場 政策推進課
庁舎整備推進係：大嶺、古見
Tel: 0980-82-6191

今年度は、老朽化により危険な状態となっている現庁舎の早期建替えを目指し、役場機能の一時分散、仮設庁舎整備、各種条件整備を進め、西表島への庁舎移転に向け取り組んでおります。

今年度の取り組み状況

5月31日～	第1回～第4回 竹富町役場新庁舎整備に関する検討委員会を開催。
～12月4日	石垣庁舎の建替えと西表庁舎の整備に向けて検討を進めております。
7月26日	仮設庁舎賃貸借契約を大和リース(株)沖縄営業所と締結。
8月17日	議会事務局、産業振興課、選挙管理委員会が沖縄銀行(株)八重山支店3階へ移転。
11月13日	仮設庁舎の安全祈願祭(表紙写真)
11月18日	仮設庁舎設置工事が開始。2月中旬の移転を予定。

今後の予定

次号より仮設庁舎の進捗状況、各課への案内図や検討委員会での協議内容を掲載してまいりますので、庁舎整備業務へのより一層のご理解とご協力のほどよろしくお願ひいたします。



平成31年度沖縄離島体験交流
促進事業離島版の一貫として、
町長への提言発表会が竹富町役
場で行われました。今年は上原
小学校5年生10人が4グループ
に分かれ、「星空ドーム」「西表
島宇宙センター」「ロープウェ
イ」と海中道路整備「未来のド
ローン活用」について、タブレッ
トを使いこなし写真やイラスト
とともに、夢のある提言を発表
しました。町長は「実際に動き出していく
プロジェクトもあるので、提
言を政策に活かせるように努力
したい」と述べました。

ゆいまーるワークショップ

竹富町福祉支援課では、黒島と西表西部（祖納・干立・白浜・船浮）で各3回シリーズのワークショップを開催しています。ゆいまーるワークショップは、福祉課題の解決を主なテーマとし、様々な人が地域の問題を解決するために自ら参加しています。

第2回

黒島地区

「資源写真地図」を作成して黒島を再発見

11月17日に黒島で「第2回ゆいまーるワークショップ」を行い、28人が参加しました。

今回のワークショップでは、参加者が事前に島内の「資源」や「宝」、「課題」だと感じたことを写真に収めて集まり、それぞれ写真に込めた思いを語り合いました。参加者はグループに分かれ、集まつた約130枚の写真の中から地域の活性化に役立つものや解決しました。さらに写真同士の関連を話し合いながら、グループ分けをして「島で大事にしたいこと」「解決したい問題」などの視点で資源写真地図を完成させました。一つのグループでは、資源写真地図のタイトルを「ハート愛」（千葉大学特命教授）からワークショップの説明を受け、グループに分かれて「西表地区に住み続けるために困っていることやありたい姿は何か？」をテーマに意見交換を行い、話し合いをもとに各自がカードに意見を書きだしました。参加者全員がカードを読み上げ、似たような意見を集めて模



完成した「資源写真地図」



写真分析の様子



グループで西表西部の困っている事やありたい姿を意見交換

【重要度順位】

1位 離島ゆえの医療体制の不安	38点
2位 高齢者の交通手段が不便	25点
3位 在宅支援体制の不備	22点
4位 ゆんたく広場づくり	14点
5位 助け合って日常生活を楽しもう	10点
6位 リーダーのなり手不足	9点
7位 地域の歴史遺産の発掘と伝承	7点
7位 一人暮らしと 子育て世代のマッチング	7点
9位 地域活動グループの結成	5点
9位 電波障害で困る	5点

第1回

西表西部地区 (祖納・干立・白浜・船浮)

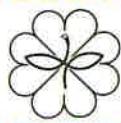
11月16日、祖納・干立・白浜・船浮の4地区から公民館長、民生委員、老人会長、駐在医師、保健師、ヘルパーなど27人が加し、第1回ゆいまーるワークショップ

造紙に張り出し、関係性を考えながらグループにしてタイトルを付け、投票を行って「重要度順位」を決めました。

あつという間に時間が経過し、論議は10時半まで続きましたが、

参加者からは、「地域の人の希望、気持ち、考えを知ることができた」「抱えている問題、ありたい姿は何か?」をテーマに意見は各地区とも似ていると感じた」「もっとたくさんの方の話を聞くといい」というなどの感想が寄せられました。

西表島西部地区の「意見地図」の重要度順位は左記の通りです。



こんにちは 民生委員・児童委員です

12月1日に民生委員・児童委員の一斉改選があり、12月2日に八重山合同庁舎にて民生委員・児童委員厚生労働大臣委嘱状及び感謝状伝達式並びに知事委嘱状交付式が執り行われました。

竹富町では、16名の民生委員と2名の主任児童委員に委嘱状が交付されました。新任の民生委員は4名です。

また、委嘱状交付式に先立ち、厚生労働大臣感謝状伝達式も執り行われ、退任者3名に感謝状が授与されました。民生委員・児童委員の任期は3年です。



退任された民生委員の皆様、大変お疲れ様でした！

民生委員・児童委員ってどんな人？

民生委員・児童委員とは

民生委員・児童委員は、地域住民のなかから選ばれ、自らも住民の一員という性格をもって住民の見守りや相談活動を行います（担当区域をもって活動します。）

主任児童委員とは

主任児童委員は、子どもや子育て家庭への支援を専門に担当する民生委員・児童委員です（すべての地区を担当します。）

竹富町 民生委員・児童委員

地区	氏名
主任児童委員	河合 正憲
主任児童委員	大城 栄子
竹 富	内盛 良枝
小 浜	前泊 幾代
黒 島	大底 京子
豊 原	金城 清
大 原	鍵野 次代
大 富	西表 いすず
古 見	石原 孝子

地区	氏名
美 原	屋宣 加陽子
上 原	川尻 千恵子
西 表	星 璇子
西 表	前鹿川 徹
白 浜	屋良 君子
船 浮	池田 トシ子
鳩 間	大工 尚美
波照間	前盛 栄子
波照間	西里 恵美

民生委員・児童委員 厚生労働大臣感謝状授与者

氏名	年数
辻口 政明	18年
通事 建次	30年
竹盛 由紀子	18年



認知症や障がい、生活が苦しい、子供・子育て等の相談があつたら、どうぞ皆さま気軽に声をかけてください。



スポーツ推進委員 永年勤続感謝状受賞

33年間、竹富町スポーツ推進委員として地域のスポーツ振興に貢献してきた宇根信夫さん（西表島大原）が「全国スポーツ推進委員永年勤続感謝状」を受賞しました。町長へ受賞報告に訪れた宇根さんは、「長年続けてこれたのは、地域の協力と家族の応援があったからこそ。今後も指導者として頑張りたい」とこれからも地域のスポーツ振興に貢献していただくことを約束してくれました。



沖縄県青年農業者会議 竹富町から2名が表彰

若手農家が農業経営などについて意見交換や発表する沖縄県青年農業者会議が那覇市内で開かれ、プロジェクト発表の部で、宮良貴秋さん（黒島）が、最優秀賞を受賞。意見発表の部で、野原友広さん（西表島大原）が優秀賞に輝きました。最優秀賞の宮良さんは、畜産業において低成本で良質な牧草に注目し、島内で「牧草コンテスト」を開催し改良を重ねている内容を発表しました。また、竹富町から3年連続の最優秀賞となり、宮良さんは、2020年6月の九州沖縄地区青年農業者会議に沖縄県代表として出場します。



ニュース& トピックス

新造船「ふなうきまる」就航

11月16日、船浮多目的集会施設にて船浮ー白浜間に運航している舟船浮海運の新造船「ふなうきまる」の就航記念式典・祝賀会が開かれました。新造船は、旅客定員が今までより20名増の85名になり、観光客の増加にも対応し、船内はバリアフリー化され、安全で快適な運航が可能になりました。祝賀会は地域住民も大勢集まり就航を祝福しました。



小浜島・西表郁さん 沖縄県文化功労者表彰

毎年、沖縄県が芸術文化の振興、文化財保護に尽力し、功績のあった個人や団体をたたえる沖縄県文化功労表彰に、竹富町から西表郁さん（小浜）が選ばれました。西表さんは、長年、国指定の重要無形民俗文化財である小浜島の盆、結願祭、種子取祭の踊り手として活躍し、後継者育成に尽力したことで表彰されました。



強いぞ！上原ストームズ

昨年各大会で快進撃を見せた上原ストームズ！11月に第36回古賀杯争奪・第135回沖縄県学童軟式野球八重山地区大会が行われ、低学年の部、高学年の部、揃って準優勝を飾りました。6月のおきでん杯でも、高学年が準優勝、低学年が優勝と2019年好成績を残しました。今年の活躍も期待し、みんなで応援しましょう。



「人権の花運動」苗植付け式

「児童生徒が協力して花を栽培することで、人を大切にする心、思いやりの心を育てる」ことを目的とした人権の花運動の苗植付け式が11月6日、鳩間小中学校にて行なわれ、来賓及び児童生徒全員で花の苗を植付けました。令和2年2月には開花式が行われる予定です。きれいな花が咲きますように。



令和元年度 八重山地区 社会教育委員研修会

「令和元年度 八重山地区社会教育委員研修会」が令和元年11月12日、13日に、小浜島で開催されました。本研修会は八重山地区社会教育委員連絡協議会の事業の一環として、社会教育活動の活性化を目指し、必要な情報の共有や資質向上を図る目的で実施しています。今年度は竹富町小浜島での開催となり、研修1日目は島在住の音楽家、土田喜久夫さんによる「小浜島ばあちゃん合唱団結成の取組み」について、エピソードを交えた講話と通所介護事業所「くま」職員を交えた合唱を鑑賞しました。その後、全国大会に参加した石垣市教育委員、長嶺泰茂さんから全国大会出席報告がありました。また、2日目は小浜公民館長の花城正美さんに解説頂きながらのフィールドワークで小浜島の歴史、文化を堪能する充実した研修会となりました。



土田喜久夫さんの講話



小浜島ばあちゃん合唱団と記念撮影



小浜島でのフィールドワーク

地域おこし協力隊活動報告 Vol.6

《竹富島》環境保全事業

鈴木 祥浩



島のご長老に指導していただき祭事で使われるピン(島ニンニク)とニラを植え付けました。土の作り方から植え付けの間隔などを教わりました。人生初めての畑仕事で、ひ弱な身体と農業への無知を鍛えていただきました。

三好 辰之進

入島料をいただきて行う環境保全事業のひとつに耕作放棄地

の再生があるのですが、そこで使用する農機具は島民のみなさまから提供していただいている。故障して倉庫に放棄されていた機器をもらい受け、修理して再稼働。おかげさまでスムーズな活動を実施できています。ありがとうございます。

《鳩間島》エネルギー再利用システム開発

大出 直子

先日、鳩間小中学校で学習発表会があり、何人かが、油化プラ



ントの見学や取材で学んだ成果を話してくれました。素晴らしい発表に感動するとともに、子どもの学びに役立てて、とても嬉しかったです。

大久保 直人

沖縄・竹富ポータルサイトの「竹富町の日常」に鳩間島の日常

写真を掲載させていただくことになりました。まだ立ち上がってないので良い写真が撮れたらと思います。

《庁舎勤務》移住定住係

齊藤 加奈

移住定住に関するアンケートのご協力ありがとうございました。皆様のリアルな意見をこのような形で聞くことができ、今後の活動の励みになりました。竹富町らしく、かつ私の立場ならではの視点で課題解決の一助になればと思っています。現在、住居の新たな取り組みを計画しています。地区の皆さんのご協力よろしくお願いします。

《西表島・野生動物保護センター》自然環境保全

井上 嵩裕

新年あけま

しておめでとうございます！昨年11月中旬には那覇でヤマネコの交通事故防止検討会へ参加、また下旬には竹富町役場でヤマネコの交通事故防止連絡会議を行いました。2020年もヤマネコの交通事故対策を行っていくための貴重な機会となりました。本年もよろしくお願ひいたします。

《西表白浜》「海人の家」運営管理

鄭 彰彦

空手着1枚

に裸足。凍り付く寒さの中、空手道場の鏡開きとして食べる温かいお汁粉。幼少期から続ける空手で、一年分の気合いが湧く不思議な力っていました。そんなお宿になれる様、訪れた方と真剣に向き合う所存です。皆様、本年も変わらぬご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

地域活性化及び移住定住に関するアンケート 調査結果

ご協力ありがとうございました

目的

地域活性化の一つとして、Uターン、Iターン移住者の受け入れの可能性を探るために、各地区の意向を把握するため

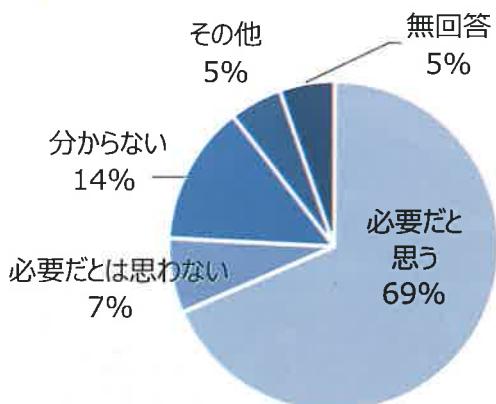
期間

令和元(2019)年9月、10月

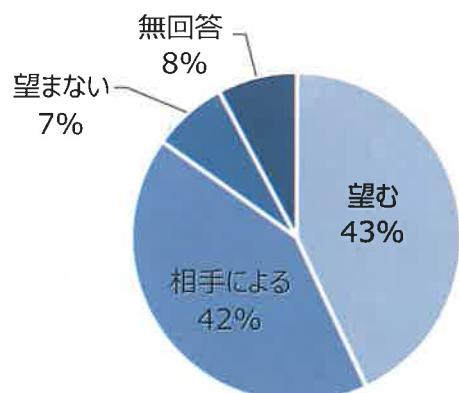
回答数

409枚 (回収率18.1%)

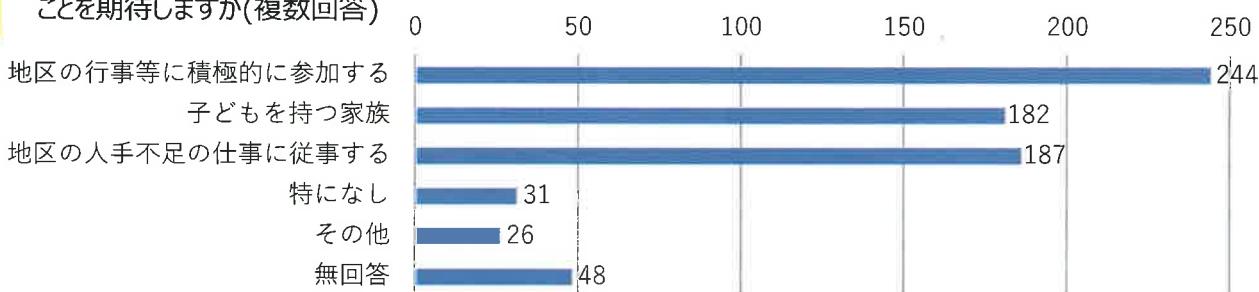
Q 今後の竹富町のために、地域外からの移住者の受け入れは必要だと思いますか



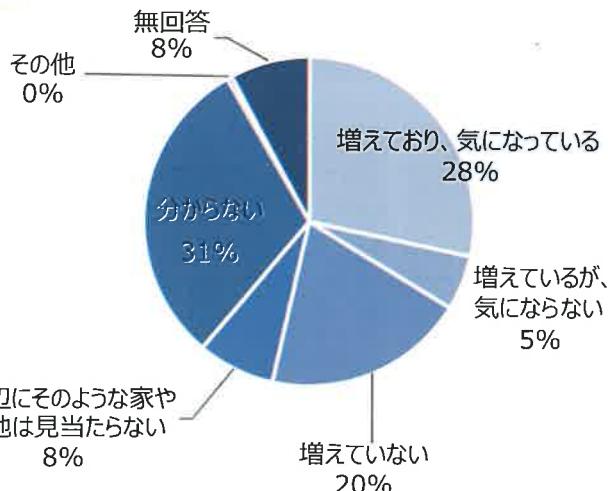
Q お住まいの地域で、移住希望者の受け入れを望みますか



Q 移住希望者の受け入れを望む場合、どのようなことを期待しますか(複数回答)



Q 使われていないと思われる家または土地の状況について、どのように感じていますか。



【アンケート調査の特徴】

移住の必要性は感じているが、島の暮らしや文化を理解した人に来てほしいという思いを感じました。

“誰でもどこでも”での移住者受け入れではなく、Uターンの若者など移住希望者と地区をつなぐ、“マッチング移住”を目指していますので、今後ともご協力お願いします。

《問い合わせ》 竹富町政策推進課
☎82-6191(代)

竹富町 学校だより

～こちらのコーナーでは、竹富町内の各学校の活動をお伝えしていきます。～

古見小学校

様々な海洋学習を実施

古見小学校では、海洋教育を年間通して「浜下り」や「カーナ学習」、後良川での「カヌー体験」、古見の浦での「ゴミゼロ運動」「巻き網学習」などを実施してきました。その様々な海洋教育で学んだことを11月の学習発表会で劇にして、「故郷古見の自然の豊かさ」や「将来持続させるにはどうすれば良いか」ということを振り返りました。劇の最後は、古見の海への感謝の気持ちを込めて「海の声」を歌いました。観客の皆さんに感動を与えました。今後も、身近にある海の豊かな体験を通して「故郷古見に誇りと愛着を持ち、この大自然と海洋文化を未来に継承できる子供達」の育成に力をいれていきます。



浜下りでは潮溜まりを観察



ゴミゼロ運動で古見の浦を清掃



後良川でカヌー体験

学習発表会の劇の様子



ゴミ拾いをする子供たち



カヌーでサガリバナを見に



前良川・後良川の女神



空き缶は大きく工夫して



巻き網漁の大漁を喜ぶ場面



釣りの演技も上手

税務課からのおしらせ

償却資産（固定資産税）の申告について

固定資産税は土地や家屋のほかに太陽光発電設備などの償却資産にも課税されます。事業用の資産を「償却資産」といい、所有者（法人・個人）は地方税法第383条の規定により、毎年1月1日現在竹富町内において所有している償却資産について、その種類、取得時期、取得価格、耐用年数等を竹富町長（税務課）に申告していただくことになっております。

「償却資産申告書（申告の手引）」につきましては、前年度に申告された所有者（eLTAX申告者除く）には税務課より郵送しています。また、資産に増減があった場合は申告書の提出が必要です。税務課窓口で配布のほか、竹富町ホームページからでもダウンロードできますので、期限内に提出していただきますようお願い申し上げます。なお、過年度の申告は隨時受付けております。

提出期限：令和2年1月31日（金）まで

提出先：竹富町役場 税務課（各出張所に提出可）

お問合せ：竹富町役場税務課固定資産税係 TEL 0980-82-6191

～事業用施設や設備の新設又は増設などを行った皆様、又は今後ご予定の皆様へ～ 固定資産税課税免除(税制優遇制度)のご案内について

竹富町では、産業の振興及び雇用の拡大に寄与することを目的として「固定資産税の課税免除等の特例に関する条例」を定め、一定の要件を満たした場合に申請により課税免除措置の適用を行います。※現行の制度は令和3年3月31日までの取得分（新設・増設）が対象です。

それぞれの地域・地区制度で定められた要件を満たす施設や設備を新設又は増設した場合、その取得した年の翌年度以降5年度分について、固定資産税の課税免除を受けることができます。

制度の詳細については、公益財団法人沖縄県産業振興公社をご確認ください。
「沖縄特区・地域税制活用ワンストップ相談窓口」（TEL098-894-6377）
<https://www.zei-tokku.okinawa/>※竹富町ホームページからもご覧いただけます。

申請期限：令和2年1月31日（金）まで

※期限厳守（期限を過ぎると受付できません）

受付場所：竹富町役場 税務課（各出張所に提出も可）

※書類確認・現場確認等を経て、課税免除を決定します。

お問合せ：竹富町役場税務課固定資産税係 TEL 0980-82-6191

竹富町が運営するWEBサイトでPRしませんか？

竹富町世界遺産推進室では、今年度、「竹富町滞在型観光推進事業」において、滞在日数の延伸による観光消費額の増と滞在型・着地型観光客の新規獲得を目指すため、必要とされる情報発信を行うWEBサイトを構築しました。当該サイトでは、竹富町の基本的な観光情報のほか、宿泊施設や飲食店、アクティビティ等の紹介を行っています。

町内の事業者様を対象とし、無料で掲載ができますので、希望される事業者様は右記事項を記入した掲載依頼書をご提出ください。様式は竹富町HPにも掲載していますが、任意の様式でもかまいません。WEBサイトはすでに公開されており、掲載情報は、隨時受付中です。お気軽にお問い合わせください。

竹富町観光ポータルサイト「沖縄 たけとみ 島時間」
こちらからアクセス↓



お問い合わせ

世界遺産推進室 観光振興係
0980-82-6191

【掲載依頼書に記載していただく事項】

- 施設名称(50文字まで)
- 施設のPR、紹介文(200文字まで)
- 住所(任意)
- 電話番号
- 営業時間(任意)
- 駐車場(任意)
- 送迎(任意)
- 決済(任意)
- 交通(任意)
- 車いす対応(任意)
- 盲導犬対応(任意)
- 外国人対応(任意)
- WEBページURL(任意)
- 写真

(5点まで・JPEGもしくはPNG・
横長サイズで横幅1280PX以上推奨)

ツマジロクサヨトウの発生に注意しましょう！

ツマジロクサヨトウの発生の経緯

①令和元年7月3日に鹿児島県でツマジロクサヨトウの発生が飼料用トウモロコシにて日本国内で初確認され、以後関東・福島県以南18県で確認されています(沖縄県：恩納村、宮古島市、多良間村)。

②8月29日に沖縄県防除技術センター八重山駐在の定期調査により、さとうきびの新植夏植圃場で本害虫が初確認され、9月2日にはソルゴー(緑肥用)で本害虫の発生が初確認されました。

本害虫の特徴

①中米・ニカラグアの調査では、本種による肥大期から熟期のトウモロコシへの加害が55～100%である場合、収量が15～73%低下するという報告があります。
②本種は、幼虫が新葉の葉鞘部や若い子実を食害します。摂食量が多く、食害部には多量の糞が散在します。
③本害虫は飛翔能力が高く、気流によって長距離移動します。



本害虫の特徴

①さとうきびやソルゴー、トウモロコシなどで本害虫の被害と思われる食害が確認された場合、病害虫防除技術センターもしくは八重山農業改良普及課・竹富町産業振興課までご連絡ください。
②農薬等による防除対策はあります。上記機関が対処策を提示します。
③早期発見が本害虫防除のキーポイントになりますので、ご協力をお願いします。



————お問い合わせ————

八重山農業改良普及課 0980-82-3497
病害虫防除技術センター 098-886-3880
竹富町産業振興課 0980-82-3116

「食品ロス*」を減らすためにできることは？

*食べ残し、売れ残りや期限が近いなど様々な理由で、食べられるのに捨てられてしまう食品を「食品ロス」と言います。

「買はずぎない」

「作りすぎない」

「食べ切る」



必要な分だけ購入し、食べきれる分だけ作りましょう！

残ったごはんdeお好み焼き もったいないクッキング



～作り方～

1 ご飯と卵を混ぜ合わせる。

2 豚肉をフライパンにのせ、「1」を形を整えながら入れる。

3 ふたをして中火～弱火で1分半ずつ両面を焼く。

4 ソース、マヨネーズ、紅しょうが、青のり、かつお節をトッピングして完成。

◇材料（1枚）

ごはん	中茶碗1杯 (150g)
卵	M 1個
豚バラ肉	2枚
青のり	0.5 g
紅しょうが	5 g
ソース	大さじ2
マヨネーズ	大さじ1
かつお節	1 g

※長野県松本市の
「もったいないクッキング
サンクスレシピ集」参照

町民課
生活環境係

<栄養成分> 1/6切分 エネルギー 115kcal

情報BOX

令和2年度 竹富町立幼稚園・ 預かり保育園児募集

令和2年度の園児募集を行います。申込用紙は各幼稚園で配布します。詳しくは広報たけとみちょう12月号に掲載しています。ご不明な点は左記までお問い合わせ下さい。



QRコードから登録



竹富町公式LINEの配信に関する運営ポリシーは竹富町公式ホームページに掲載してあります。

○小浜地区	■日時	令和2年1月23日(木)16時～19時
○黒島地区	■日時	令和2年1月15日(水)16時～19時
■場所	令和2年1月16日(木)9時～12時	黒島伝統芸能館

今月の空飛ぶ図書館

『竹富町教育委員会 教育課』
0980-871-6256 担当：白保
『はてるま幼稚園』 0980-855-8254
『おおはら幼稚園』 0980-855-5553
『うえはら幼稚園』 0980-855-6754

令和2年度 保育所入所案内

令和2年度の保育所入所申込の受付を行います。当該児童が家庭において必要な保育を受けることが困難であると認められる場合に入所が認定されます。詳しくは広報たけとみちょう12月号に掲載しています。ご不明な点は左記までお問い合わせ下さい。

■申込先(申請書類配布先)
各入所希望保育所・各出張所・福祉支援課
■募集期間
令和2年1月14日(火)～1月31日(金)
※土日祝日を除く、午前9時～午後5時まで

※氏名・生年月日・住所が確認できるもの(免許証・健康保険証・学生証・離島住民カード・本人宛の郵送物など)をご持参ください。

《竹富町教育委員会 教育課》
0980-871-6256 担当：宇根

事件・事故緊急事態に110番

沖縄県内の110番通報は、全て沖縄県警察本部に繋がります。
110番通報の際は、あわてず、落ちついて、警察官の質問に答えて下さい。

- ①何がありましたか?どうぼう、交通事故、けんか口論など・・・

- ②場所を教えて下さい。地番、目標の建物や交差点名、電柱番号など・・・

- ③いつごろですか?何時ごろ、何分くらい前など・・・

- ④犯人の特徴を教えて下さい。性別、服装、体格、乗り物、逃走方向・・・

- ⑤今の状況は?ケガ人、被害の状況、事件事故の様子など・・・
⑥あなたの住所、氏名は?氏名、住所、連絡先など・・・

※「110番通報」は緊急通報の専用電話です。安心・安全な社会の実現のため、110番の正しい利用方法を理解していただきますよう、ご協力ををお願いします。
緊急時以外は、相談ダイヤル(#9110)を利⽤して下さい。

《沖縄県八重山警察署》0980-82-0110

戸籍に記載 されていない方へ

このような方をご存じの方へ

戸籍に記載されるための手続きをご案内します。秘密は厳守します。



戸籍に記載されていない事情は、人によつて様々です。戸籍がないため、社会生活上不自由を来すことも考えられるところです。あなた（お子さん）にとつて、どのような手続きをとることが最善なのか、法務局職員、沖縄弁護士会所属弁護士と一緒になつて考えてみませんか。

金銭的な問題で手続きが取れない方には、法テラスの「民事法律扶助」制度をご利用いただけます。まずは、那覇地方法務局戸籍課又は沖縄弁護士会まで、お電話ください。

那覇地方法務局戸籍課

Tel 098(854)7953

沖縄弁護士会

(子どもの権利に関する特別委員会)

Tel 098(865)3737

沖縄県委託事業 「令和元年度 介護に関する入門研修事業」

ご家族の介護のために… 就労のために…

介護に関する入門的研修 受講生募集中!

受講料
無料

テキスト及び
副教材支給



- 介護の資格をお持ちでない方を対象としています。
- 介護の未経験者を対象に、介護に関する基本的な知識や技術を学べます。
- 受講料は勿論、テキスト及び副教材も無料です。
- 受講修了者には「入門的研修」の修了証が授与されます。
- 修了後に就労を希望する方には、介護施設・事業所等とのマッチングを支援します。

※訪問介護員として勤めることはできません。

授業内容

- 介護に関する基礎知識
- 介護の基本 ●基本的な介護の方法
- 認知症の理解 ●障がいの理解
- 介護における安全確保
- 人権学習 など22.5時間他

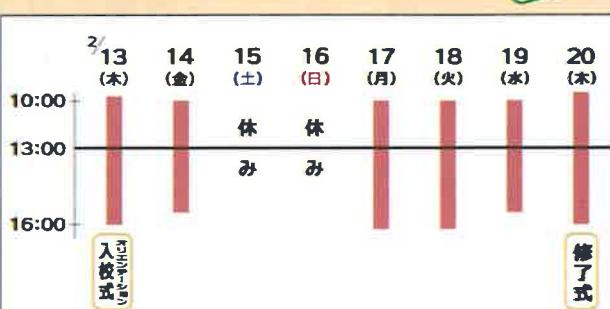
開講場所及び日程について

申込締切：各会場、研修開始前日まで ※但し、定員になり次第締め切ります。



竹富町西表島(定員15名)

平日みっちり
土日お休み型



受講会場

竹富町離島振興総合センター (2階会議室)

受講日時

2月13日(木)～2月20日(木)

申し込みは、竹富町役場福祉支援課窓口及び東・西支所に設置しているチラシ裏面の受講申込書に必要事項をご記入の上、ファックスして下さい。役場・支所からもファックスしてもらえます。

※受講申し込み書は、介護労働安定センター沖縄支部のホームページから取り出することができます。



お問い合わせ先

<http://www.kaigo-center.or.jp/shibu/okinawa/index.html>



公益財団法人 介護労働安定センター沖縄支部
〒900-0016 沖縄県那覇市前島3丁目25-5 とまりんアネックスビル1階
電話:098-869-5617 FAX:098-869-5618



ホームページ